

## 伐採木を活用した工作

NPO 法人日本森林ボランティア協会  
山 本 博

森の手入れで出た木々を利用する。

・ 太い丸太...ベンチ、イス

・ 細い丸太...コースター、道づくり・階段づくり

・ 小枝...モックン、エンピツ

出展：森林の本シリーズ 3 森で遊ぼう  
イラスト 里山の手入れ図鑑

発行 （社）全国林業改良普及協会  
発行 （社）全国林業改良普及協会

## 道づくり・階段づくりについて

活動地への移動など、安全確保のために歩道を整備し、場所によっては階段を作る。

必要な道具

- ・ 伐採した樹木
  - 太い丸太（横木用） 1本 細い丸太（杭用） 2本 が基本セット
- ・ スコップ（植え付け鍬）
- ・ ノコギリ
- ・ ナタ
- ・ カケヤ（木槌）

横木は太いのがなければ、細いのを2本組み合わせる。

横の長さは、道幅等から現場合わせてよい。

杭用の丸太の先は、ナタで尖らせておく。また、長い目の丸太を用意し、打ち込んでから、適当な長さで切断する。

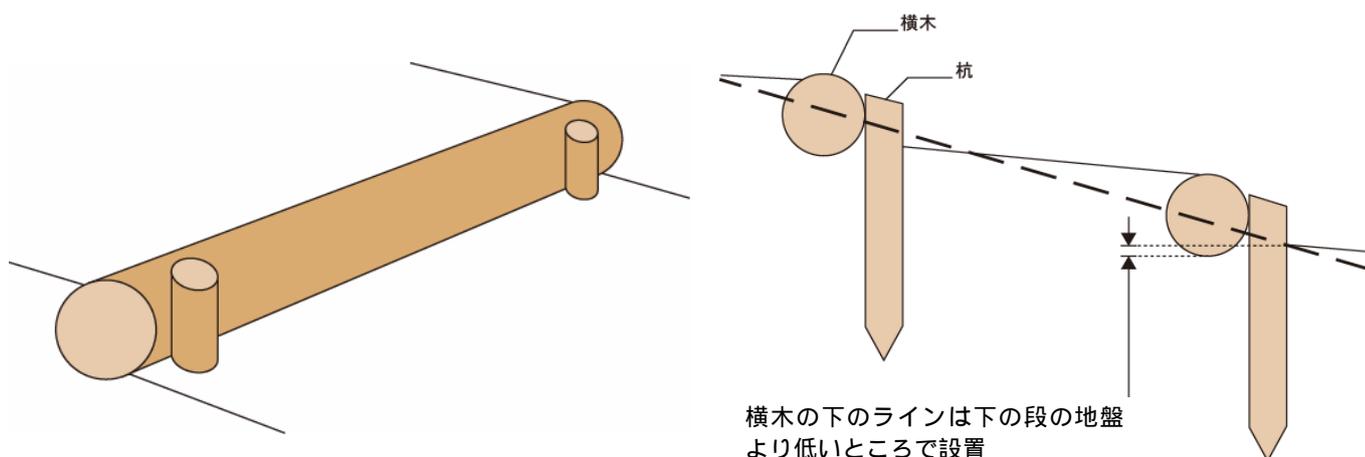
完成時の確認ポイント

杭が横木をしっかりと支えるなど、横木がしっかりと固定されているか  
(階段の場合) 杭の頭が横木より上にでていないか

注1：階段づくりは、活動参加者の安全確保のためで、土壌浸食の恐れもあるので、設置は必要最低限としましょう。

注2：設置する場合は、雨水の通り道とならないように、尾根筋に設定し、階段沿いに水路ができないように、谷川に向けて水が流れるように、側溝を設定する。

注3：年数が経てば傷むので、不具合箇所の早期発見と適切な修理を早期に行う。



# クラフト材料のいろいろ

## 森のクラフト

森にはクラフト材料がいっぱい

森の中はクラフト材料の宝庫。倒木、間伐材などの幹、樹皮、枝などがいっぱい。ここで紹介したのはほんの一例。いろいろな作品を作ってみよう。

### 切り株でいろいろ

みがかが、火で焦がすとほめらくなる。仕上にニス塗ってもよい。

●イス 丸太をノコで2方向から切る。切ったあとは糸ヤスリで。

●ブックエンド 丸太をノコで切るかオノで割るかして半分にする。底に舌の形をしたうすい板(木かアクリク)を付ける。

●ベンチ ①丸太をノコで半分に切る。ドリルで直径30cmくらいの穴をあける。

### 太い丸太でいろいろ

### 短い丸太でいろいろ

●木のボウル ①長さ20~40cmの丸太を、芯のところをさけて半分に割る。皮の側からまたは内側から丸ノミで削っていく。②外側はナタなどで削り、そのあとナイフやカンナで仕上げる。クルミの油をまるとあとが汚れない。ウレタン塗料もよい。

●テーブル用まな板 ①伊ヤカエドほど割しやすい木の丸太をオノで割る。裏と裏を削ったり削ったりして仕上げる。②柄の部分を利用してできあがり。

### 細い丸太でいろいろ

●ギョネのおもちや ①割りやすいイタヤカエドの丸太を直径5cm、長さ10cmくらいに切り、6分割する。

■森のあまりものを生かす

雑木林応援団でやってみたいのが雑木林を手入れすること。すなわち「みんなの大きな家」のそとじです。

雑木林を手入れすると、いろいろなものが出てきます。伐採した丸太、枝、木の皮、つるなど。森のそとじで出てくるそんな、あまりものを生かして、クラフトを作ってみましょう。できたクラフトは、自分の部屋の飾りに、お父さん、お母さん、友だちへのプレゼントにすれば一石二鳥です。

森のクラフトの材料である木、枝は、ノコギリやナイフで好みの形に切ることができます。金属ではこうはいきません。時間をかけて、自分のイメージを、くぐらませ、材料のもっている形、やわらかさ、木目などを生かしてみるのが森のクラフトのコツです。

雑木林はいろいろな種類の木が生えていて、一〇種類くらいはすぐに見つけることができます。そこで樹種の違いをうまく利用してみよう。コナラやクヌギは硬く、ミズキは枝が車の軸のように出ています。ガマズミ、カマツカは細くても乾くと折れません。そうした特徴を生かせばおもしろい作品が作れるでしょう。

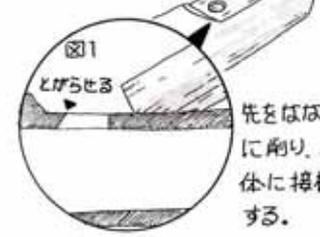
■木以外にもこんなにあるクラフト材料

アケビ、フジ、マタタビなどのつるが手に入ったら、カゴ、バスケット、クリスマスリースなどを作ってみましょう。

木の皮は、お皿にしたり、煮て草木染の材料にできます。種類によって色が違うので、いろいろな皮で試してみましよう。

大きな葉はお皿に早変わり。プラスチックの皿で食べるよりもずつとおしゃれな食卓になるでしょう。

●竹笛 節をさけて5~7cmに切る。図1のよう  
に、一方をとがらせて、穴をあける。吹き口の▼



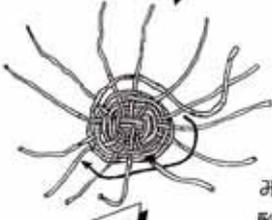
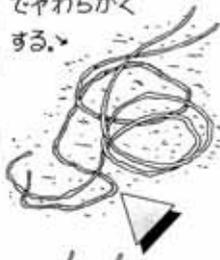
先をはねめに削り、本体に接着する。



指をずらして穴の大きさを変わると、音程が変わる。

竹でつくる

●かご ①つるや皮を水でやわらかくする。▼



②互いに編みながら、自由な形を作っていく。



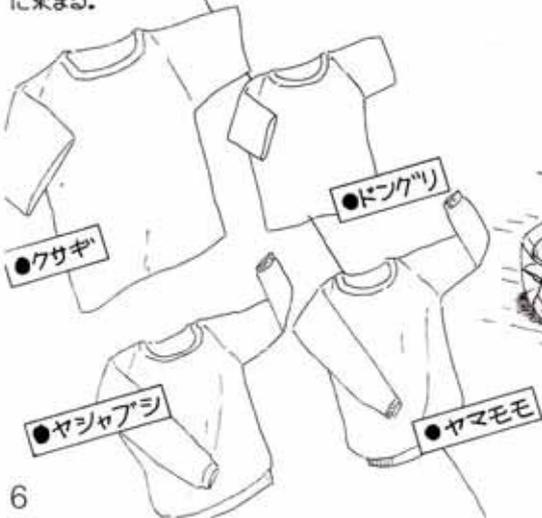
①皮や葉を煮つめ、こしていく。これに布を入れ、煮る。

草木染



②木の灰がミョウバンを木に溶かした液に布をひたし、はいせんする。その後、木洗いでがわがす。

③使う皮や葉によっていろいろな色に染まる。



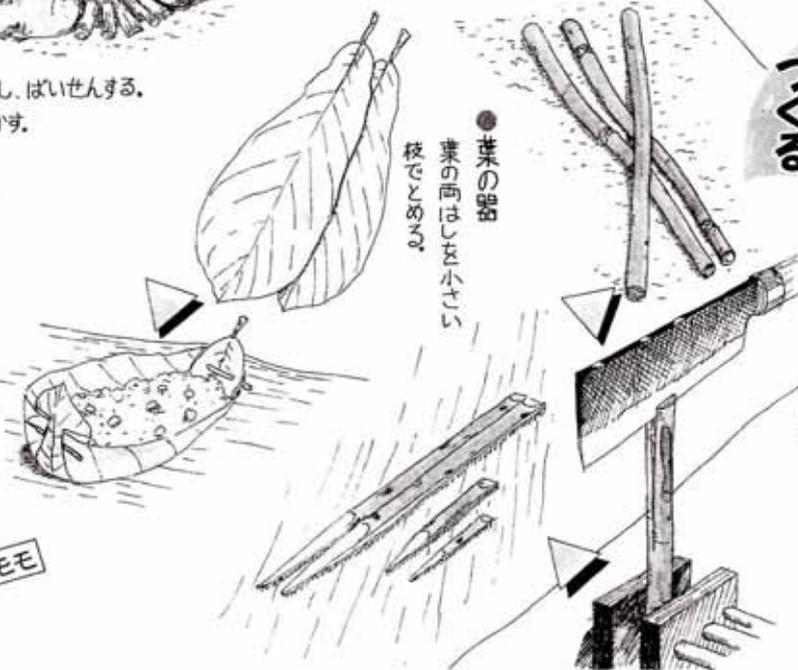
木でつくる

木のいろいろな部分の使いみち



木のいろいろな部分	用途
木	曲がった部分 アルコール、いすなどの家具の脚、背もたれなど
材	木のまた カシヤの葉、うす、板脚部分、テーブル
部	ふし キーホルダー、アローなどの小物
分	しみや腐れ部分 板脚小箱、キーホルダー、アローなどの小物、象眼細工
樹皮	かご、草木染、紙
枝	クリスマスリース、小物クラフト
葉	はがき、紙やすりの代用、器、皿、堆肥

葉や小枝でつくる



●葉の器 葉の高はしを小さい枝でとめる。

●はしとクラフツ なたで4~6つに割り、先をなたで削って仕上げNo.

図1 竹を削り、竹の節をさけて5~7cmに切る。一方をとがらせて、穴をあける。吹き口の▼

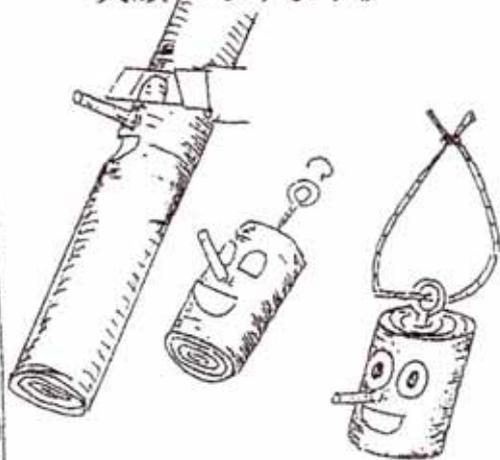
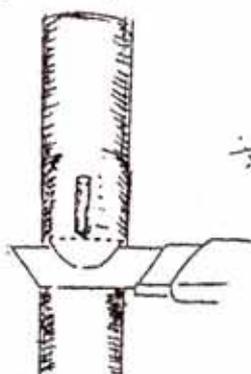
# 『小枝のモックくん』

## 準備するもの

カッターナイフ。剪定バサミ。木工用ボンド。きれいな紐。一番小さいヒートン(00番)。小枝。活動眼。キリ。

## 初級編

- ① 枝から小枝の出ている箇所を鼻にするように枝を切る。
- ② 鼻のすぐ下を横に切る。
- ③ カッターナイフでU字型に削る。上がまっすぐで、下側が丸いと笑顔になります。



- ④ 目の箇所にカッターナイフで横に切り、上からU字型に削ります。削らずに活動眼をつけると、後日に目が落ちます。
- ⑤ 上の切り口にキリで穴をあけヒートンを挿込む。
- ⑥ 活動眼を木工ボンドで張りつける。木工ボンドは乾くと透明になるので目が落ちないように、やや多めに。
- ⑦きれいな紐を結んで完成。

## 応用編

- ① 口や目の位置を変えてみよう。表情が変わっておもしろい。口の上が丸くて下が真っすぐだと、情けない雰囲気になります。鼻の下が長いとスケベな顔になります。試しに作っても、おもしろいかも。
- ② 舌をつけてみよう。
- ③ 小枝の無いところはエンピツにする。
- ④ 枝が同じような箇所から両脇に出ている場合はナタで割ってサンドペーパーの60~80番くらいの粗目のもので凸凹をなくす。頭を斜めに切って木の皮を張る。木工ボンドでコースターにつけると出来上がり。

